



横浜市立川和東小学校 学校便り

Create

「創造する子」【自分・仲間・学校・まち・夢を創る】

8・9月号

発行日  
2019年  
8月27日

～自分・仲間・学校・まち・夢を創る～  
～「創造する子」未来への挑戦～

## あふれる Create の学校へ

横浜市立川和東小学校  
校長 齋藤 稔

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な姿と声に戻ってきました。

今年の夏休みは、先日の24日・25日に地域での夏祭りが多く開催されたこともあり、そこで子どもたちの元気な姿と会うことができました。「宿題は?」「夏休みどうしてました?」「元気にしてましたか?」など、子どもたちに声をかけて様子を聞いてみました。「夏休みがもっとほしい。」「宿題、ヤバイです。」と言った言葉も聞こえましたが、「～～へ行ってきました。」「～～をしました。」と楽しかった思い出の話も聞くことができました。子どもたちの姿に元気をもらうことができました。

また、地域の行事では、手伝ってくださっている保護者の方々ともお会いでき、地域でも子どもたちを見守っていただいていることにあらためて感謝の思いをいたしました。「もうすぐ学校が始まります。お家で面倒を見ていただきありがとうございます。」と挨拶をすると、「やっと始まります。よかったです。」との返答があり、長期の休みのねらいである「家庭での生活を大切に」が、家庭でしっかりと面倒をみてもらっていることで児童にとって家庭が安心する場所へとつながっていると感じます。保護者の方からすれば、わがままな要求があり、「早く学校が始まってほしい。」との気持ちもあるかと思いますが、夏休みを楽しく過ごさせてもらったことへの感謝の気持ちは必ずあると思います。いずれにしましても、夏休みを家庭で無事に過ごすことができ、元気に登校してくる姿に感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、この夏休みには、来年度から実施される新たな学習指導要領についての研修が実施されました。私たち教員も新学習指導要領については、これまでも学習を重ね、新しい教育課程を考え準備をしているところです。その中では、各学校が掲げる学校教育目標をどう具現化していくかが重要です。本校には、素晴らしい学校教育目標である「創造する子～create」があります。この学校教育目標実現のために、学習内容や学習方法の工夫・改善、行事の時期や内容の見直しなど、目標達成につながることを意識した教育活動になるように取り組んでいます。そのためには、目的・目標・手段を明確にして、「何のため」という目的を共有していくことが重要と考えます。手段が目的といっしょになってしまい、目的を見失ってしまわないように「それって、何のためにやっているのか?」を考え、形式に力量をおいた指導とならないようにしていきたいと思えます。「楽しい」ことは大切ですが、楽しさだけを追求しても、createにはなりません。目的を達成するための目標を積み重ねる手段や方法を意識し大切にしていきたいと思えます。

夏休み明けも、児童を中心に、保護者・地域の皆さんと「何のためか」を共有していきます。多くの場面でお世話になります。よろしくお願いいたします。

学校便りは、本校ホームページでもご覧いただけます。あわせてご覧ください。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawawahigashi/>